NICHICON
NIPPON CONCEPT CORPORATION

2018年8月20日

# 日本コンセプト株式会社
# 中間決算説明会 資 料




東証一部（9386）

Responsible Care For Global Environment

# １．2018年第2四半期決算

# ２．2018年通期予想

# ３．強み・成長性

# 1-1　2018年度第2四半期決算　連結損益

（単位：百万円）

| | 2017年度 | 2018年度実績 | | | 対前年 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 上期実績 | 第1四半期 | 第2四半期 | 上期 | 増減 | 増減率 |
| 売　上　高 | 5,638 | 2,957 | 2,974 | 5,931 | 293 | 5.2% |
| 営　業　利　益 | 967 | 435 | 452 | 887 | -80 | -8.3% |
| 経　常　利　益 | 926 | 418 | 460 | 878 | -48 | -5.1% |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 649 | 293 | 322 | 615 | -34 | -5.2% |
| 保有基数（期末） | 6,970 | 7,314 | 7,523 | 7,523 | 553 | 7.9% |
| 稼働率（期中平均） | 74.4% | 78.7% | 78.6% | 78.7% | 4.3% | 5.8% |
| 為　替（US$1=） | ¥112.9 | ¥109.7 | ¥108.1 | ¥108.9 | ¥-4.0 | -3.5% |
| 売　上　原　価 | 4,011 | 2,180 | 2,169 | 4,349 | 338 | 8.4% |
| 販　管　費 | 659 | 341 | 354 | 695 | 36 | 5.5% |

# 1-2　2018年度第2四半期決算　要点

＊前年同期比（増収、減益）

増収（+293百万円）

・海外輸送（輸出入・三国間輸送）はアジア・日本間の輸出入を中心に好調
（タンクコンテナ保有基数の増加＋稼働率上昇―ほぼフル稼働の状況）。
・加えて国内取引（国内輸送、保管等）が大幅増収。
・ガス事業も本年4月から売上に本格的に寄与。

→結果、円高（前年同期より4円円高）にもかかわらず増収。

減益（▲48百万円---経常損益段階）

・ガス事業に係る経費増（ガスを取り扱う支店開設に伴う地代家賃、設備関連
費用）が主要因（ガス事業の売上への本格的な寄与が4月以降なのに対し、
経費は準備期間含め1月から発生）。

・旺盛な貨物需要に対応するため新造タンクコンテナの先行投資を実施。
償却費、リース料の増加。

# 1-３　2018年度第2四半期決算　連結貸借対照表

（単位：百万円）

| 科　目 | | 2017年12月末 | 2018年6月末 | 増減 |
|---|---|---|---|---|
| 流　動　資　産 | | 4,164 | 5,525 | 1,361 |
| | 現　預　金 | 2,492 | 3,813 | 1,321 |
| | 売　掛　金 | 1,330 | 1,311 | -19 |
| | そ　の　他 | 341 | 400 | 59 |
| 固　定　資　産 | | 11,493 | 12,081 | 588 |
| | 有形固定資産 | 11,068 | 11,584 | 516 |
| | 無形固定資産 | 229 | 293 | 64 |
| | 投資その他の資産 | 194 | 203 | 9 |
| 資　産　合　計 | | 15,657 | 17,607 | 1,950 |

| 科　目 | | 2017年12月末 | 2018年6月末 | 増減 |
|---|---|---|---|---|
| 負　債 | | 7,723 | 8,228 | 505 |
| | 買　掛　金 | 879 | 763 | -116 |
| | 有利子負債 | 6,076 | 6,592 | 516 |
| | そ　の　他 | 768 | 873 | 105 |
| 純　資　産 | | 7,934 | 9,378 | 1,444 |
| | 株主資本 | 7,875 | 9,362 | 1,487 |
| | その他 | 59 | 15 | -44 |
| 負債・純資産合計 | | 15,657 | 17,607 | 1,950 |
| 自　己　資　本　比　率 | | 50.7% | 53.3% | 2.6% |
| 一株当たり純資産（円/株） | | ¥606 | ¥676 | ¥70 |

株主資本増：2018年3月に㈱商船三井を割当先とした第三者割当増資を実施

# 1-４　2018年度第2四半期決算　キャッシュフロー計算書

（単位：百万円）

| | 2017年上期 | 2018年上期 | 増減 |
|---|---|---|---|
| 営　業　キ　ャ　ッ　シ　ュ　フ　ロ　ー | 943 | 1,011 | 68 |
| 税金等調整前当期純利益 | 922 | 878 | ▲ 44 |
| 減価償却費 | 437 | 495 | 58 |
| 立替金の増減（▲は増加） | ▲ 233 | 79 | 312 |
| 法人税等支払額 | ▲ 153 | ▲ 295 | ▲ 142 |
| その他 | ▲ 29 | ▲ 146 | ▲ 117 |
| 投　資　キ　ャ　ッ　シ　ュ　フ　ロ　ー | ▲ 646 | ▲ 449 | 197 |
| 設備資金 | ▲ 265 | ▲ 489 | ▲ 224 |
| 定期預金の純増減額（▲は増加） | ▲ 340 | 50 | 390 |
| その他 | ▲ 40 | ▲ 10 | 30 |
| フ　リ　ー　キ　ャ　ッ　シ　ュ　フ　ロ　ー　（差　引） | 297 | 562 | 265 |
| 財　務　キ　ャ　ッ　シ　ュ　フ　ロ　ー | ▲ 787 | 842 | 1,629 |
| 借入金・社債増減額 | ▲ 432 | 141 | 573 |
| 配当金支払額 | ▲ 196 | ▲ 195 | 1 |
| その他（株式発行、リース債務等） | ▲ 157 | 895 | 1,052 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | ▲ 15 | ▲ 24 | ▲ 9 |
| 現金及び現金同等物の増減額（合計） | ▲ 505 | 1,381 | 1,886 |
| 現　金　及　び　現　金　同　等　物　の　期　末　残　高 | 2,059 | 3,529 | 1,470 |

１．2018年第2四半期決算

## ２．2018年通期予想

３．強み・成長性

# 2-1　2018年度通期予想

（単位：百万円）

| | 2018年度 | | | 2018年度 | 対期初見通し | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 上期実績 | 下期見通し | 通期見通し | 期初見通し | 増減 | 増減率 |
| 売　上　高 | 5,931 | 6,353 | 12,284 | 12,284 | - | - |
| 営　業　利　益 | 887 | 1,048 | 1,935 | 1,935 | - | - |
| 経　常　利　益 | 878 | 999 | 1,877 | 1,877 | - | - |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 615 | 683 | 1,298 | 1,298 | - | - |
| 保有本数（期末） | 7,523 | 7,800 | 7,800 | 7,400 | 400 | 5.4% |
| 稼働率（期中平均） | 78.7% | 78.0% | 78.3% | 78.0% | 0.3% | 0.4% |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 為　替（US$1=） | ¥108.9 | ¥111.0 | ¥110.0 | ¥111.0 | ¥-1.0 | -0.9% |

**通期見通しは据え置き。**
**経常損益　上期878百万円　→　下期 999百万円　（121百万円　増益）**
**要因**
**①ガスタンクビジネス　上期損益貢献なし（初期費用影響）→下期黒字**
**②為替　上期 108.9円→下期 111円（期初見通し前提通り）**

1．2018年第2四半期決算

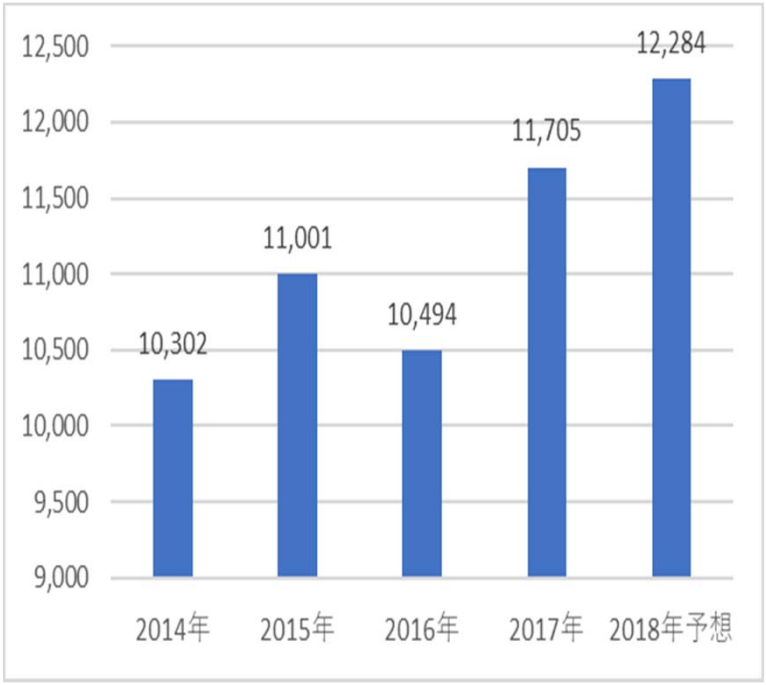
2．2018年通期予想

3．強み・成長性

# 3-1　強みー高い収益性①

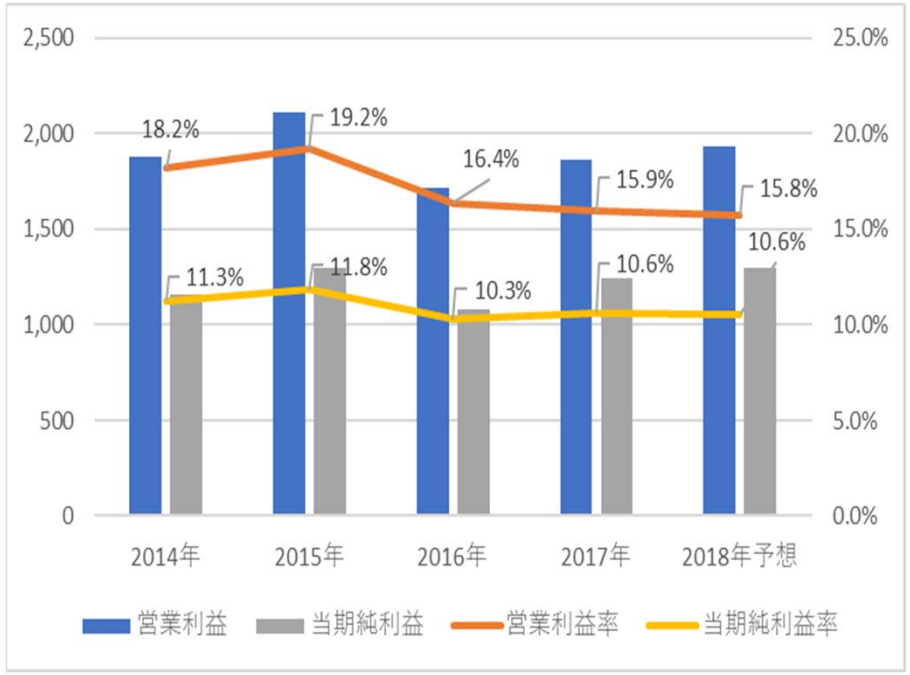
## 売　上　高

（百万円）




## 営業・当期純利益率

（百万円）



# 3-2　強み＝高い収益性②

（参考迄）　東証1部「倉庫・運輸関連」カテゴリー23社（当社含む）

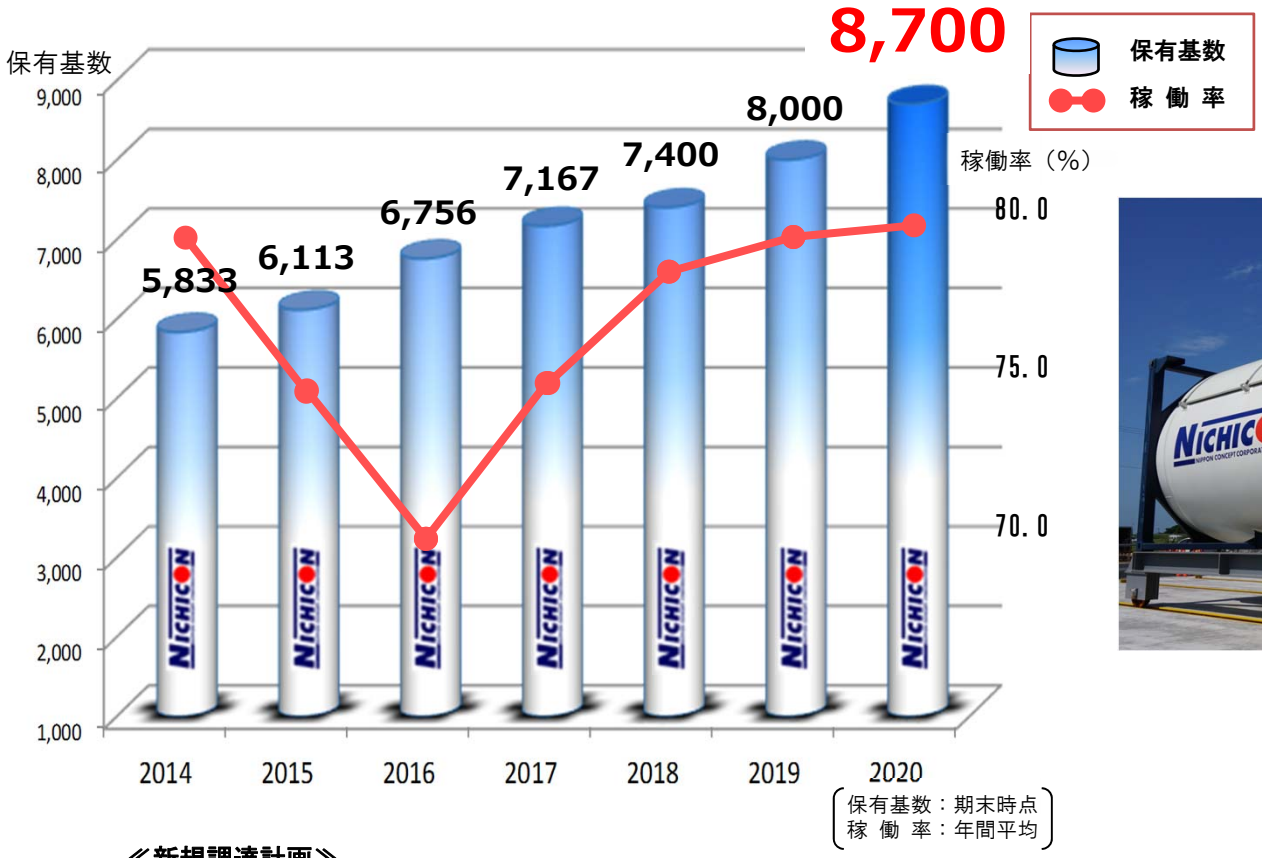
| | 当社 | 他22社平均 |
|---|---|---|
| 売上高営業利益率 | 15.9% | 4.4% |
| ROE | 16.6% | 5.1% |
| ROA | 8.2% | 2.7% |
| 自己資本比率 | 50.7% | 53.3% |
| 従業員数（連結） | 172人 | 2,911人 |
| 平均年齢（単体） | 31才 | 39才 |
| 一人当たり売上高 | 68百万円 | 39百万円 |
| 一人当たり営業利益 | 11百万円 | 2百万円 |

＊各社最新本決算データを当社にて集計

**高い収益性が当社の特長（一般的な倉庫・運輸業とは性格の異なる事業：当社ビジネスモデルは巻末に掲載）**

# 3-3　成長性＝投資（タンクコンテナ）

＊2018年2月に公表したタンクコンテナ投資計画







≪新規調達計画≫

| 年　度 | 2018 | 2019 | 2020 |
|---|---|---|---|
| 調達基数(概算) | 300 | 600 | 700 |

（註）旺盛な貨物需要に対応して、2018年は新規調達を当初計画の300基から700基まで増量（発注分含む）

# 3-4　成長性ニガス事業

「**ガス専用**タンクコンテナサービス」 2018年4月より売上に本格貢献

**代替フロンの輸送・保管・回収・再生・破壊（無害化）のトータルサービス**




**サービス概要**

①ガス専用タンクコンテナのレンタル
②輸送／保管
③残渣の回収
④再生
④破壊（無害化）

**環境事業**











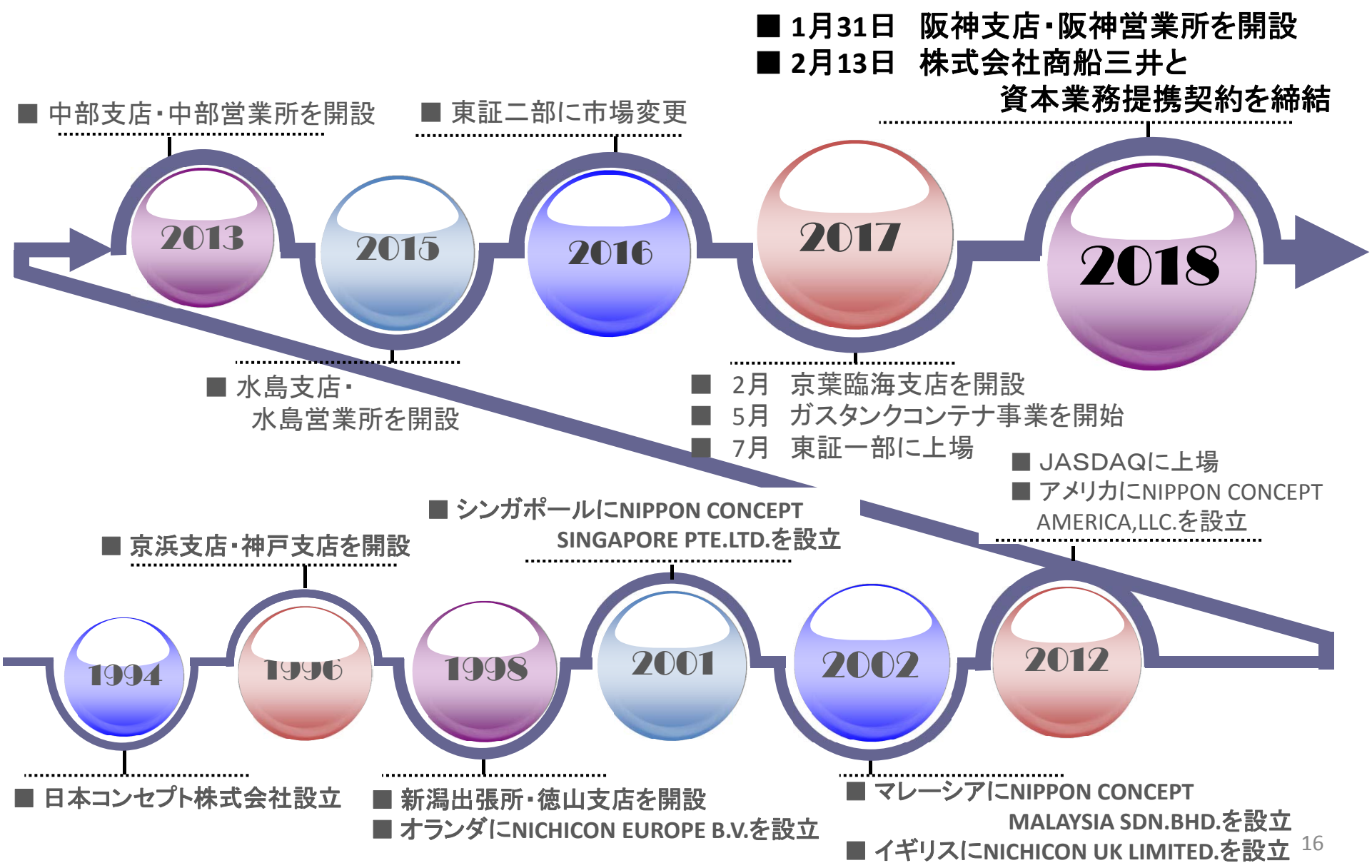

# 参考資料

# 会　社　概　要

| | |
|---|---|
| 社　　名 | 日本コンセプト株式会社 |
| 設　　立 | 1994年1月6日 |
| 所　在　地 | 東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル 8階 |
| 代表取締役社長 | 松元　孝義 |
| 資　本　金 | 11億34百万円　（2018年6月末時点） |
| 上 場 市 場 | 東京証券取引所 市場第一部<br>（証券コード　9386） |
| 単元株式数 | 100株 |
| 決　算　期 | 12月 |
| 子 会 社 数 | 6社 |
| 従 業 員 数 | １８０名　（連結、2018年6月末時点） |



# 沿　　革


■ 1月31日　阪神支店・阪神営業所を開設
■ 2月13日　株式会社商船三井と
資本業務提携契約を締結
■ 中部支店・中部営業所を開設
■ 東証二部に市場変更
2013
2015
2016
2017
2018
■ 水島支店・
水島営業所を開設
■ 2月　京葉臨海支店を開設
■ 5月　ガスタンクコンテナ事業を開始
■ 7月　東証一部に上場
■ JASDAQに上場
■ アメリカにNIPPON CONCEPT
AMERICA,LLC.を設立
■ シンガポールにNIPPON CONCEPT
SINGAPORE PTE.LTD.を設立
■ 京浜支店・神戸支店を開設
1994
1996
1998
2001
2002
2012
■ 日本コンセプト株式会社設立
■ 新潟出張所・徳山支店を開設
■ オランダにNICHICON EUROPE B.V.を設立
■ マレーシアにNIPPON CONCEPT
MALAYSIA SDN.BHD.を設立
■ イギリスにNICHICON UK LIMITED.を設立

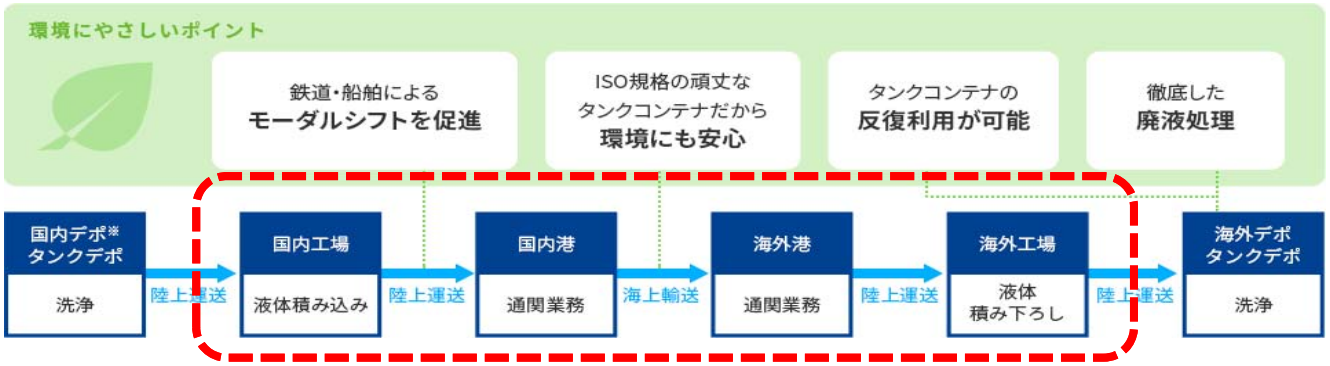
# 連結主要経営指標等の推移

| 回次 | | 第21期 | 第22期 | 第23期 | 第24期 |
|---|---|---|---|---|---|
| 決算年月 | | 2014年12月 | 2015年12月 | 2016年12月 | 2017年12月 |
| 売上高 | （百万円） | 10,302 | 11,001 | 10,494 | 11,705 |
| 営業利益 | （百万円） | 1,876 | 2,111 | 1,716 | 1,865 |
| 経常利益 | （百万円） | 1,820 | 1,983 | 1,583 | 1,772 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | （百万円） | 1,160 | 1,300 | 1,079 | 1,245 |
| 純資産額 | （百万円） | 5,474 | 6,355 | 7,042 | 7,934 |
| 総資産額 | （百万円） | 14,089 | 14,971 | 14,819 | 15,657 |
| 1株当たり純資産額 | （円） | 418.02 | 485.25 | 537.72 | 605.79 |
| 1株当たり当期純利益 | （円） | 88.63 | 99.32 | 82.43 | 95.08 |
| 自己資本比率 | （%） | 38.9% | 42.5% | 47.5% | 50.7% |
| 自己資本利益率 | （%） | 23.6% | 22.0% | 16.1% | 16.6% |
| 営業活動によるキャッシュフロー | （百万円） | 1,764 | 2,061 | 1,945 | 2,102 |
| 投資活動によるキャッシュフロー | （百万円） | 3 | △ 697 | △ 678 | △ 1,490 |
| 財務活動によるキャッシュフロー | （百万円） | △ 1,410 | △ 1,186 | △ 1,176 | △ 1,042 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | （百万円） | 2,385 | 2,525 | 2,564 | 2,148 |
| 従業員数（連結） | （名） | 167 | 162 | 164 | 172 |

# 当社ビジネスモデル①

(1)「タンクコンテナ輸送サービス」

**日本コンセプトのビジネスは自社タンクコンテナと自社施設（デポ）に特化した『NVOCC事業』（非船舶運航業者）である**





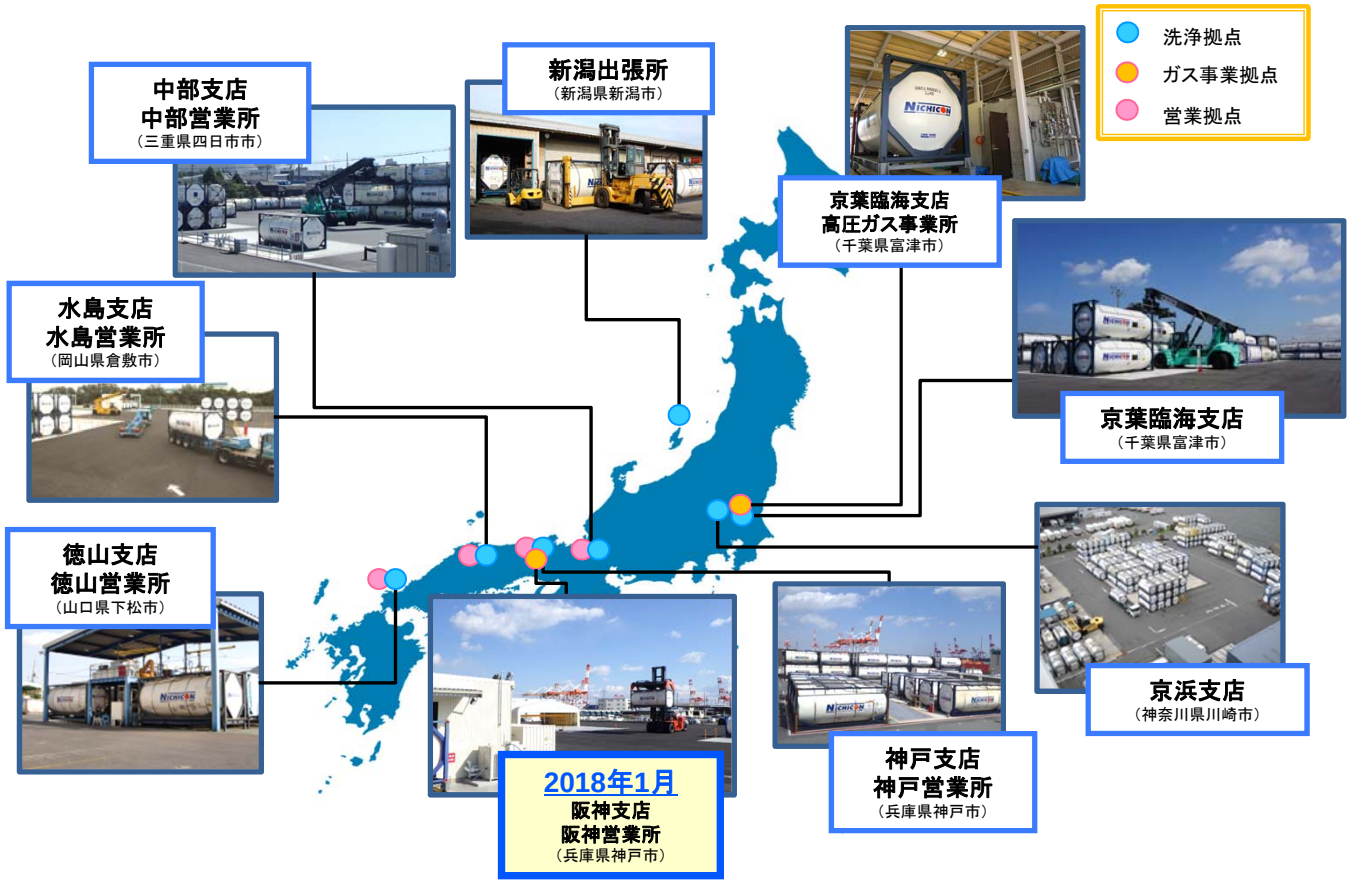


**輸送品目**

- 液体化学品全般
- 潤滑油などの石油製品
- 液体ゴム
- 植物油、アルコールなど（一部）

# 当社ビジネスモデル②

(2)「国内サービス」　（国内輸送・洗浄・保管・積替え・加温）　**自社デポの活用**




主な工業地帯をくまなくカバーする自社デポを活用し、国際輸送だけでなく国内輸送でも環境に優しいワンウェイ輸送を実現。また当社独自のノウハウを活用して様々な案件に対応。

# ISOタンクコンテナとは①

危険品である液体化学品や液化ガス等を安全な状態で輸送するため、タンクの板厚や安全弁、排出弁などIMDG CODE（国際海上危険品規定）で定められている仕様に従うほか、世界を自由に行き来するため、ISO（国際標準化機構）の規格に準拠したもの。

## ISOタンクコンテナ外観











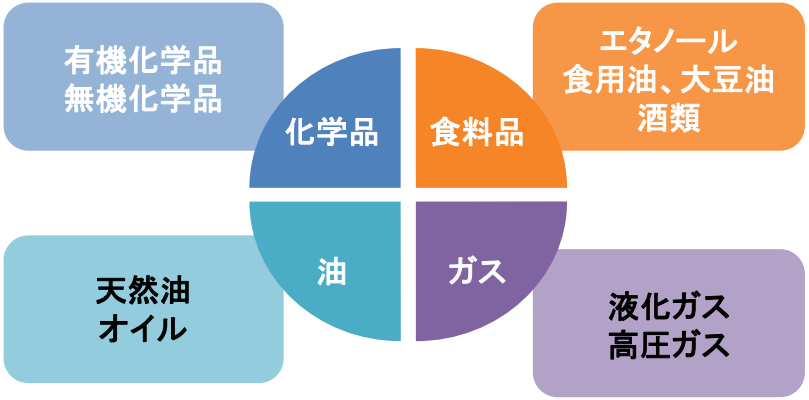


## 日本コンセプトが使用するISO規格

| | |
|---|---|
| 規　　格 | T11 UN portable tank |
| タンク容量 | 約24,000ﾘｯﾄﾙ（約20トン積載可能） |
| 外形寸法 | L6m×W2.4m×H2.6m |
| 材　　質 | ステンレス(SUS 316L) |

＊ 汎用化学品の輸送にはT11規格が求められている

## ISOタンクコンテナの主な輸送貨物



# 液体ケミカル製品の輸送手段

## タンクコンテナ

積載量：約20t




## ドライコンテナ（ドラム缶）

積載量：約16t(ドラム缶80本)



## ケミカルタンカー

積載量：約300t～500t




## タンクローリー

積載量：約10t



# ISOタンクコンテナとは②

**ISOタンクコンテナは　経済性、利便性に優れた輸送容器**

| | |
|---|---|
| 大　量　輸　送 | ■ ドラム缶（1缶当たり約200ﾘｯﾄﾙ、ドライコンテナに80本積載可能、1コンテナ当たり16トン）やケミカル用タンクローリー車（10トン前後が多い）より大容量 |
| 長期反復利用 | ■ 内部洗浄により、反復利用だけでなく長期間利用、異なる液体の輸送が可能となる<br>■ 経済的耐用年数は20年超 |
| 複合一貫輸送 | ■ コンテナ船やトラック、鉄道など複数の輸送手段を組合せ、異なる容器に移し替えることなくスムースにDoor To Doorで目的地へ |
| 貯蔵保管機能 | ■ ケミカルタンカーのように、港湾に大規模貯蔵施設を必要とせず、新興国にも急速に普及<br>■ 貯蔵保管容器としても機能するため、受入れ先のインフラを選ばない |

## 洗浄デポを起点に長期反復利用

■ 洗浄デポにおいて徹底した内部洗浄をすることにより、異なる液体を輸送することが可能




## 保管容器としても機能

■ 当社デポや搬入先工場、CY（コンテナの保税地域・一時保管所）などで保管



■ 震災後の陸前高田市では、特例措置として安全対策を施し仮設給油所に



# ISOタンクコンテナとは③

**経済性や利便性に加え、安全性と環境対応に優れた輸送容器**

## ISO規格の安全性

- 危険物輸送に対応する強度・耐久性
  - 危険物を一般の貨物コンテナと同様に海陸一貫輸送できる安全規格
  - 危険物の充填、排出、保全などに必要な付属装備が完備
- IMDG Code（＊）に則った厳格な管理・運用
  - 2年半毎の定期検査など

### ＊IMDG Code

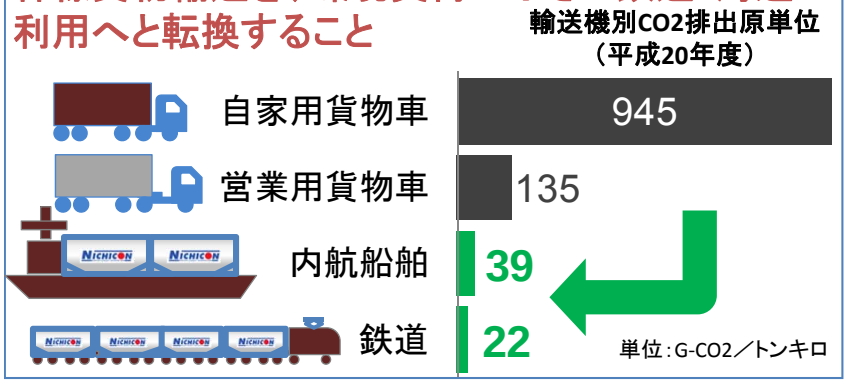
International Maritime Dangerous Goods Code（国際海上危険物規程）は、世界の150カ国以上が加盟しているIMO（International Maritime Organization＝国際海事機関）が、国際連合危険物輸送専門委員会の勧告に則り定めた規程。危険物の定義、容器の基本基準要件、試験規定及び運送基準などを定めた、危険物海上運送のバイブル。

## 環境対応

- 廃棄物を発生させない
  - 長期反復利用により、容器の廃棄による環境破壊を防止
  - 副包装材を一切使用しないため、輸送後も廃棄物は発生せず
- モーダルシフト（＊）に適合する
  - 鉄道・海運などによる輸送に適している

### ＊モーダルシフト

**幹線貨物輸送を、環境負荷の小さい鉄道・海運利用へと転換すること**




出典：（環境省）温室効果ガス排出・吸収目録、
（国土交通省）自動車輸送統計年報、鉄道輸送統計年報、内航船舶輸送統計年報より作成

## 【ご注意事項】

- 本資料は資料作成時点で入手可能な情報に基づいて日本コンセプト株式会社が作成したものです。資料の内容については細心の注意を払って情報を掲載しておりますが、その有用性、正確性、安全性に関して保証するものではありません。本資料のご利用により生じる如何なる損害についても、日本コンセプト株式会社はその責任を一切負いません。

- また、本資料は、資料作成時点で入手可能な情報に基づいた業績予測や事業計画を含みます。当社は業績予測、事業計画の実現性について責任を負いません。実際の業績は、今後の市況の変動などを含むさまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。事業計画については、市場での受け入れ、競合他社などを含む様々な要因により遅れが生じる、または実現できない可能性があります。

- 本資料に掲載している内容（文章・資料・画像等）の著作権、および、商標類は、日本コンセプト株式会社、そのグループ会社、関連会社または第三者に帰属しており、各国の著作権法、各種条約及びその他の法律で保護されています。したがって、無断で複製、転用、転載等、使用することはできません。

## 【お問合せ先】

日本コンセプト株式会社　経営企画部
TEL：03-3507-8812　／　FAX：03-3507-8815
E-mail：nccsoumu@n-concept.co.jp
〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-2-2
富国生命ビル8階